

2022年3月23日

住友生命保険相互会社

スミセイ「仕事と妊活・不妊治療の両立に関するアンケート」

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、2022年4月から開始される不妊治療の保険適用拡大を踏まえ、「仕事と妊活」および「仕事と不妊治療」の両立についてアンケートを実施しました。

◆調査結果の概要（調査結果の詳細は別紙参照）

○不妊治療保険適用拡大の認知度は6割超、妊活経験者の関心高く（4～5ページ）

2022年4月の不妊治療保険適用拡大について、6割超（63.9%）が“理解している”“見聞きしたことはある”と回答した。特に妊活経験者の認知度は8割超（84.5%）と高く、うち3割弱（29.4%）は具体的な内容まで把握している。

○妊活中の方のうち、不妊治療経験者は過半数を占める（6ページ）

今回の調査対象（20代～40代の会社員・既婚者）において、妊活中の方は1割未満（7.0%）で、そのうち不妊治療経験者は過半数（57.4%）を占めた。また、妊活予定者についても6割超（65.7%）が不妊治療の実施を視野に入れている。

○新型コロナウイルスの影響により、妊活中の方（予定していた方を含む）の約4割が妊活の前倒し・延期・休止等、行動レベルでの影響を受ける（7～9ページ）

新型コロナウイルス感染症拡大により、妊活中の方（予定していた方を含む）の約4割（39.4%）に、妊活の前倒し・延期・休止等の行動レベルでの影響が出ており、不妊治療への影響は約5割（47.3%）にものぼった。さらに、いずれも調査時点で再開に至っていないケース（「やめた」「延期・休止中」）が約2割にも及んだ。

妊活を延期・休止・やめた理由の上位には、妊婦・胎児・乳児の感染リスクを懸念する声が挙がっている。なお、コロナ禍により収入が不安定になったことで、“子どもを育てられるか心配”“不妊治療を継続できなくなった”というケースもみられた。

○妊活に対し、パートナーと互いの考えや希望を共有し、協力しながら取り組んでいるものの、相手の取組みについての満足度には男女差あり（10～12ページ）

約8割が、パートナーと妊活に対する互いの考え・希望を共有しながら取り組んでおり、相手の妊活への取組みにも満足している。しかし、取組みに関する満足度については男女差が生じ、“満足している”回答が、女性が男性よりも17.2ポイント低い結果となった。

○不妊治療と仕事が両立困難な場合の優先度について約6割が「不妊治療」を選択する中、企業においては“制度・組織”、“人”ともに課題（13～19 ページ）

両立が困難になった場合の不妊治療と仕事の優先度について、約6割（61.7%）が「不妊治療」を選択した。職場における不妊治療と仕事の両立可否については、“可能”が5割弱（46.8%）に留まるところ、“不可能”の理由は“時間的負担”がトップで過半数（51.2%）を占めており、この課題解決のため、企業においては休暇制度や柔軟な勤務が可能となる制度を整備していることが覗える。

しかしながら、企業の両立支援制度等のトップは3割超（33.5%）で「特になし」となり、さらに、不妊治療を職場に公表した際の周囲の反応については約5割（47.6%）が「変わらない」であるなど、企業において“制度・組織”および“人”ともに課題が残る。

○仕事と不妊治療の両立実現に向け、企業の取組みに期待（20～22 ページ）

不妊治療を行う上で困難に感じたことの上位に、“精神的・経済的・時間的負担”が挙げられた。経済的負担については今回の不妊治療保険適用拡大の影響が注目されるが、子どもを望む人が希望どおりの妊活・不妊治療を行える社会を実現するためには、企業における、仕事と不妊治療の両立支援に向けた制度面の対応や、制度が活用できる職場づくり等の積極的取組みが求められている。

◆有識者のコメント

NPO 法人 Fine（ファイン）理事長 松本 亜樹子氏



NPO 法人 Fine では、長年、妊活や不妊治療はカップルでおこなうものと提唱してきましたが、多くのカップルが互いの考えや希望を共有し、協力しながら取り組んでいることが本調査から明らかとなり、大変嬉しく思います。

また国や自治体による「仕事と不妊治療の両立」の啓発は少しずつ進んでいますが、企業による両立支援は残念ながら少なく、通院と仕事の調整の負担は今もなお大きいのが現状です。「制度」整備も重要ですが、不妊や不妊治療に対する周囲の正しい理解、企業風土醸成が急務であると改めて感じています。妊活や不妊、不妊治療は特別なことではなく、子育てや介護、病気通院と同様、柔軟な就業環境により仕事との両立が可能となります。Fine も参画した住友生命の「プレコンセプションケア領域での企業向けソリューションの共同開発」の取組みが、不妊治療の4つの負担（身体的・精神的・時間的・経済的）を軽減し、多様な選択を可能とする真の共生社会の実現に期待します。

【 調査概要 】

1. 調査期間 : 2022年2月21日～2月24日
2. 調査方法 : インターネット応募による選択方式および自由記入方式
3. 調査対象 : 5,303人 (全国の20代～40代・会社員・既婚の男女)

調査対象者の内訳 (人)

	20代	30代	40代	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州	全体
男性	64	608	2,333	111	158	1,217	525	548	226	220	3,005
女性	316	954	1,028	69	154	937	398	399	178	163	2,298
合計	380	1,562	3,361	180	312	2,154	923	947	404	383	5,303

- 北海道地方 : 北海道
- 東北地方 : 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
- 関東地方 : 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
- 中部地方 : 新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県
- 近畿地方 : 三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
- 中国・四国地方 : 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県
- 九州地方 : 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

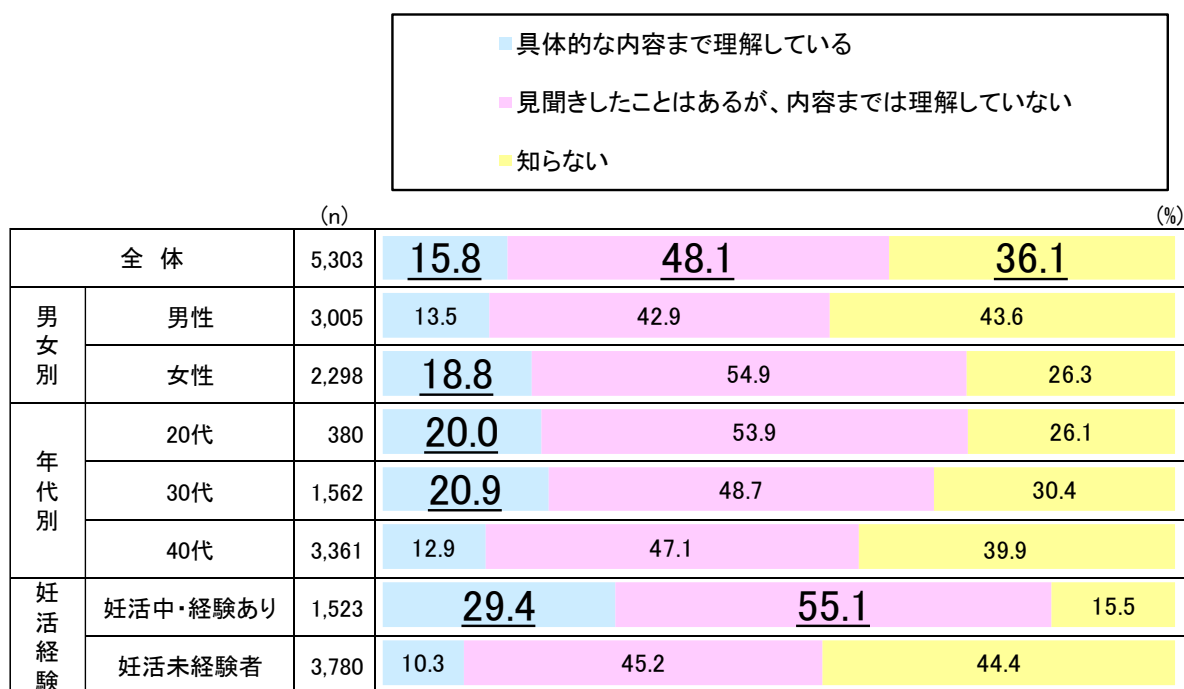
【 調査結果 】

1. 不妊治療保険適用拡大の認知度等

a. 認知度・関心度

2022年4月の不妊治療保険適用拡大について、「具体的な内容まで理解している」が15.8%、「見聞きしたことはあるが、内容までは理解していない」が48.1%、「知らない」が36.1%でした。「具体的な内容まで理解している」は、男女別では女性が、年代別では20代・30代が高い傾向にあります。特に、妊活経験者の認知度が84.5%と高く、うち29.4%は具体的な内容まで把握しており、未経験者と19.1ポイントもの差が生じました。

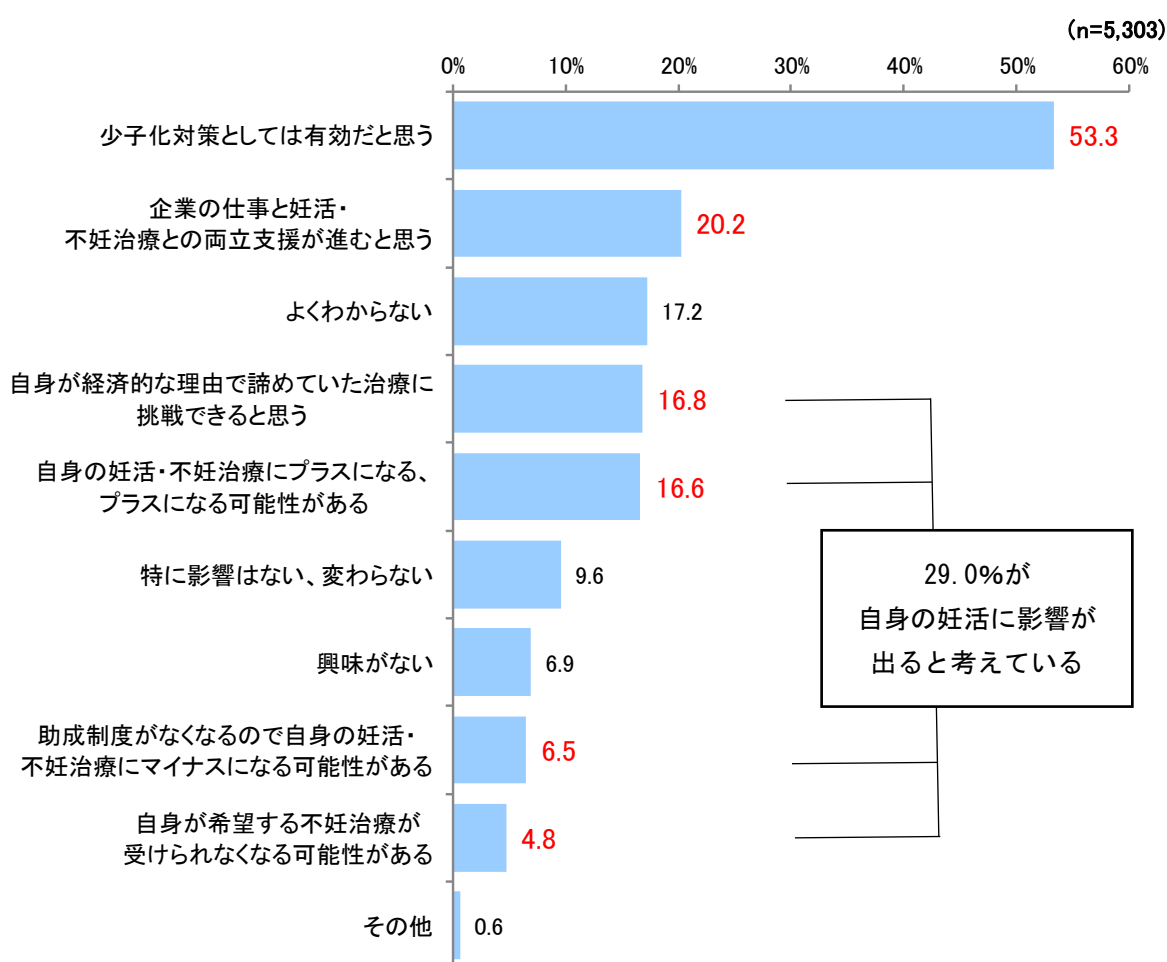
◆2022年4月に不妊治療の保険適用が拡大されます。そのことについて知っていましたか。



b. 不妊治療保険適用拡大に対する意見等

不妊治療保険適用の拡大については、「少子化対策としては有効だと思う」が53.3%、「企業の仕事と妊活・不妊治療との両立支援が進むと思う」が20.2%など、肯定的な意見が多くみられました。ご自身の妊活・不妊治療については、「経済的な理由で諦めていた治療に挑戦できると思う」が16.8%、「プラスになる・プラスになる可能性がある」が16.6%と、好意的に受け止められている一方、「助成制度がなくなるのでマイナスになる可能性がある」(6.5%)、「希望する不妊治療が受けられなくなる可能性がある」(4.8%)という意見も挙がり、29.0% (1,536名)の方が自身の妊活に影響すると考えています。

◆不妊治療の保険適用拡大についてのお考えを教えてください。(複数回答可)

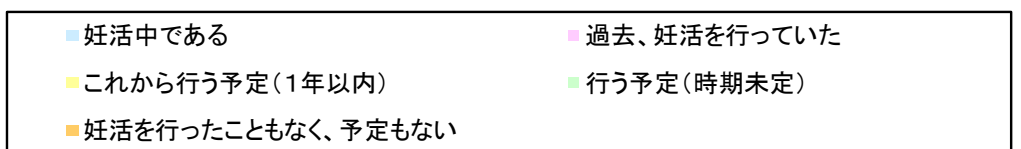


2. 妊活および不妊治療の経験

今回の調査対象である20代～40代の会社員・既婚者のうち、妊活中の方は7.0%であり、男女別では女性、年代別では20代が多くなっています。

また、妊活中の方の57.4%が不妊治療を経験しており、今後妊活を予定している方（「これから行う予定（1年以内）」「行う予定（時期未定）」の合計9.5%）のうち、65.7%の方が「受ける予定がある・必要であれば受ける」と、不妊治療の実施を視野に入れていきます。

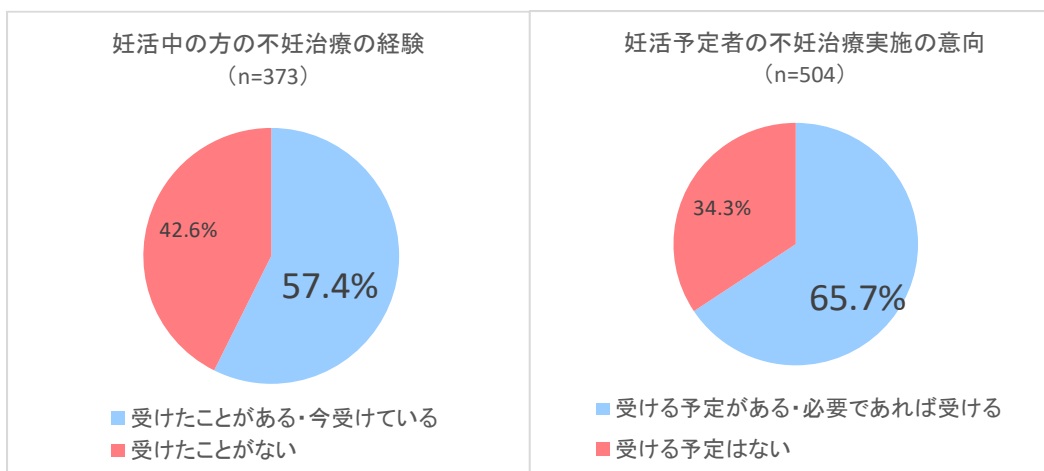
◆あなたは今、妊活中ですか。



		(n)	(%)				
全体	5,303	7.0	21.7	4.9	4.6	61.8	
男女別	男性	3,005	4.9	19.2	3.9	3.3	68.7
	女性	2,298	9.8	24.9	6.3	6.3	52.7
年代別	20代	380	15.5	22.6	9.7	14.5	37.6
	30代	1,562	12.2	26.3	8.8	7.6	45.1
	40代	3,361	3.7	19.4	2.6	2.0	72.3

◆不妊治療について教えてください。

*（左）妊活中の方・（右）妊活を予定している方を対象



3. コロナ禍の妊活・不妊治療

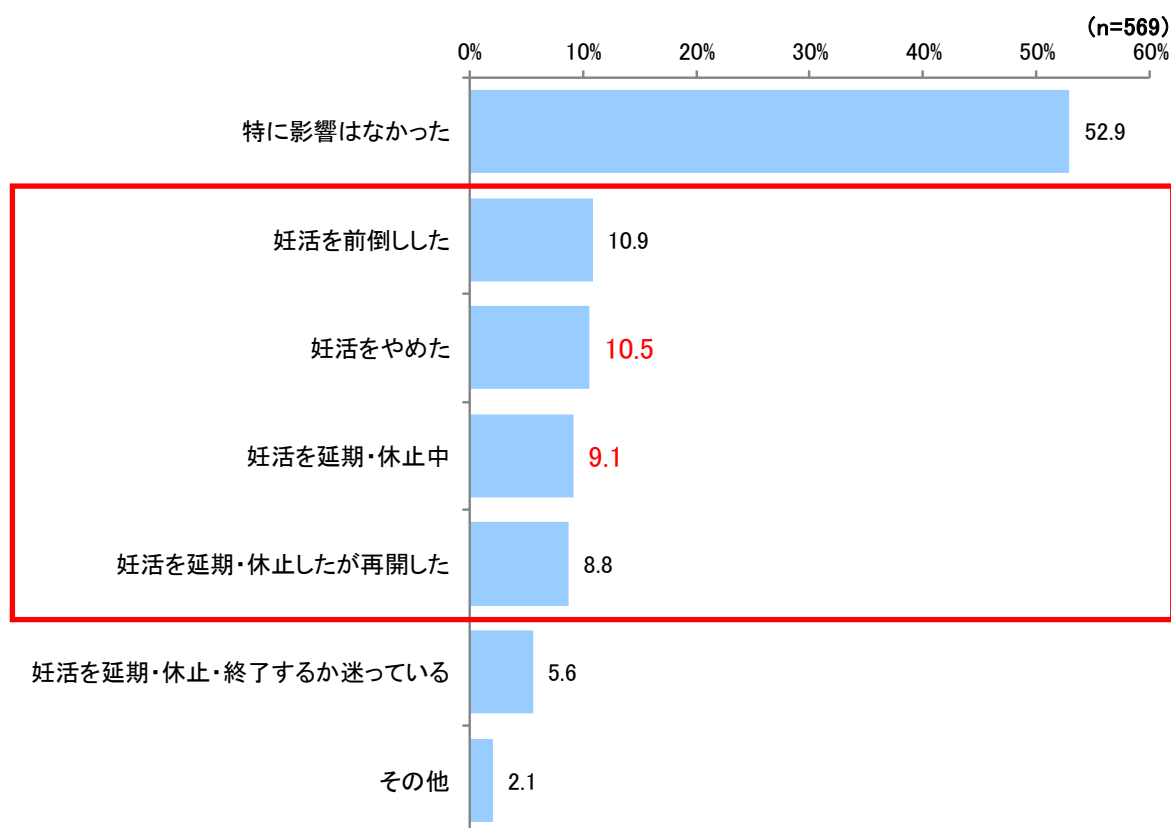
a. 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症拡大により、妊活を「前倒しした」「やめた」「延期・休止中」「延期・休止したが再開した」の合計は39.4%となり、約4割の方に行動レベルでの影響が出ています。その中でも、「やめた」が10.5%、「延期・休止中」が9.1%と、調査時点で約2割が妊活の実施にはいたっていません。

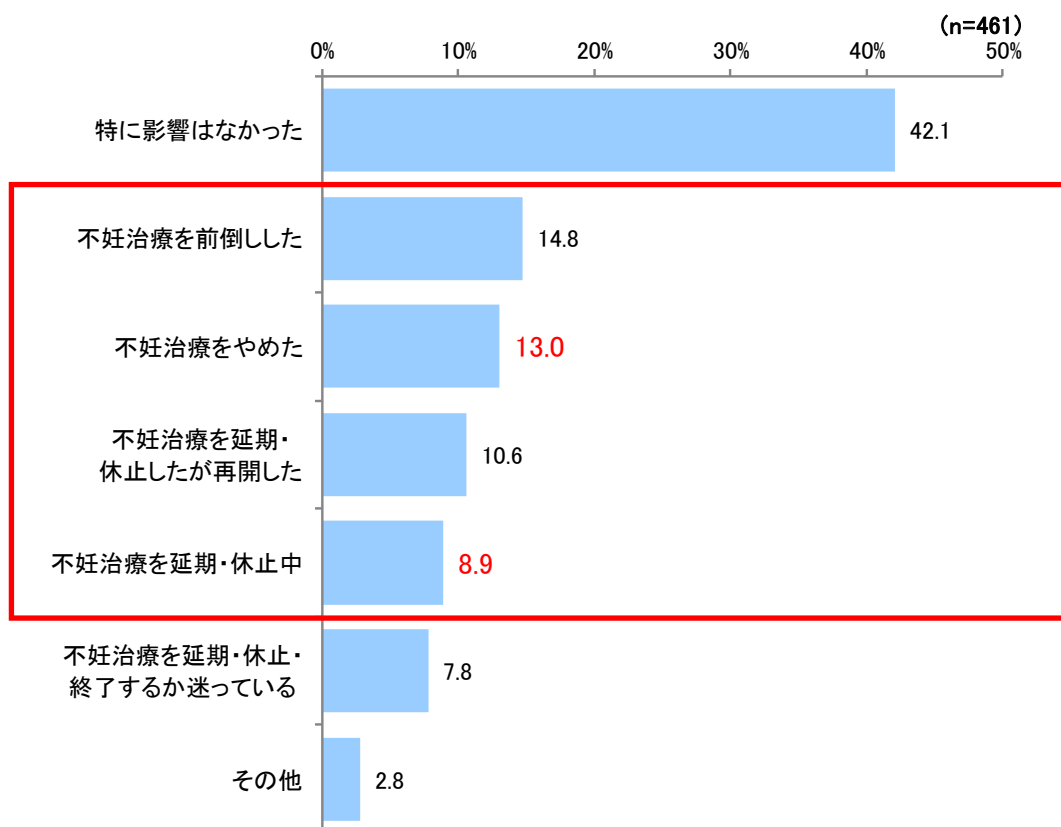
また、不妊治療への行動レベルでの影響（「前倒しした」「やめた」「延期・休止したが再開した」「延期・休止中」の合計）は47.3%と多くみられ、妊活同様、調査時点で約2割（「やめた」13.0%、「延期・休止中」8.9%）が再開していないという結果になりました。

◆新型コロナウイルス感染症拡大により、あなたの妊活に何か影響はありましたか。

* 新型コロナウイルス感染症拡大時期に妊活中または予定していた方を対象



- ◆新型コロナウイルス感染症拡大により、あなたの不妊治療に何か影響はありましたか。
* 新型コロナウイルス感染症拡大時期に不妊治療中または予定していた方を対象



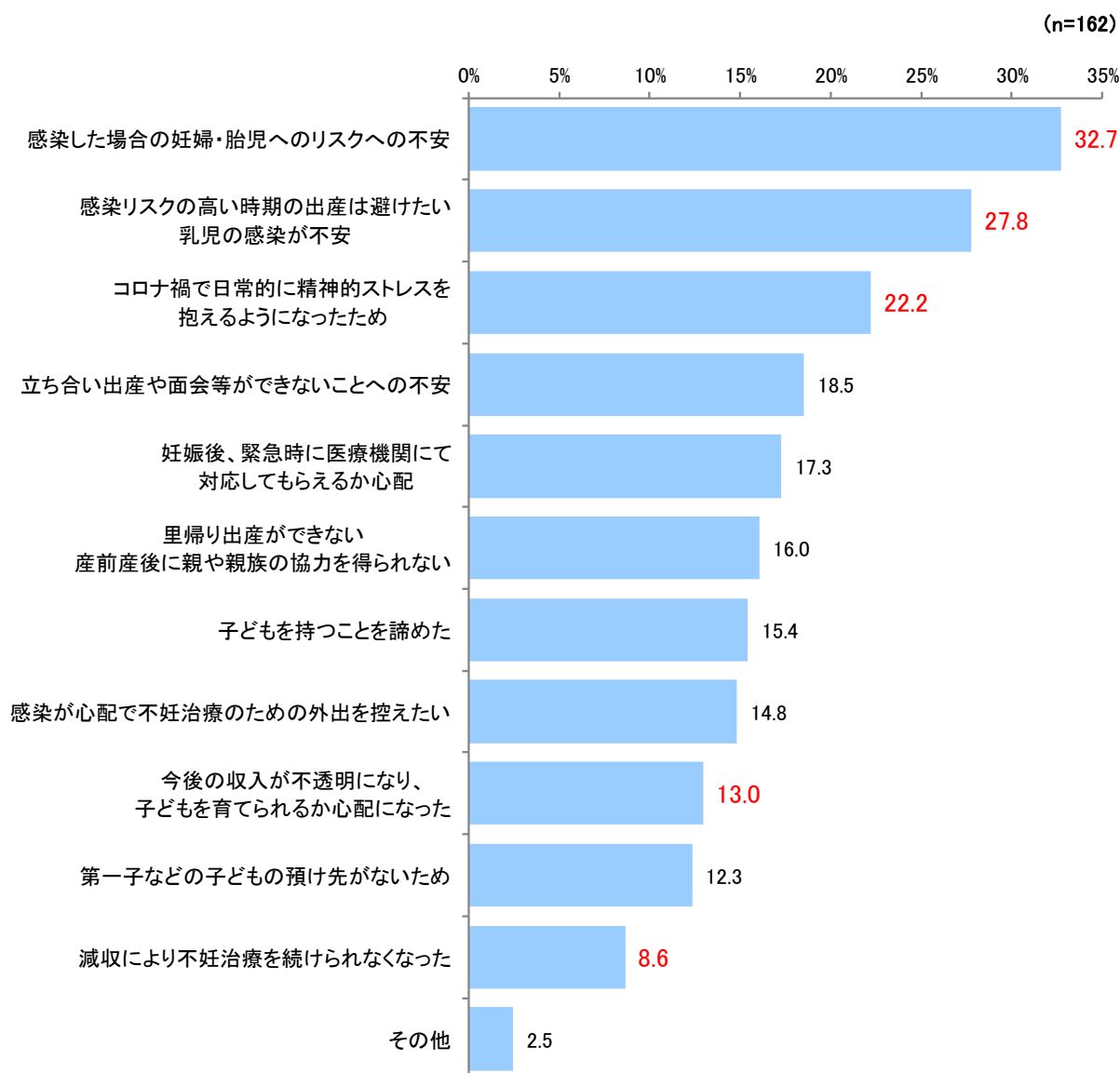
b. 妊活を延期・休止・やめた理由

コロナ禍での妊活について、「感染した場合の妊婦・胎児へのリスクへの不安」(32.7%)、「乳児の感染が不安」(27.8%)など、妊娠中・出産後の感染を懸念した意見が目立ちます。次に多く挙げられたのは「コロナ禍で日常的に精神的ストレスを抱えるようになった」(22.2%)であり、妊活を進めるにあたり、外部環境のストレスがいかに支障になるかが窺えました。

また、コロナ禍により「今後の収入が不透明になり、子どもを育てられるか心配になった」(13.0%)、「減収により不妊治療を続けられなくなった」(8.6%)という経済的な問題も挙がりました。

◆新型コロナウイルス感染症拡大により、妊活を延期・休止・やめた理由を教えてください。(複数回答可)

* 新型コロナウイルス感染症拡大により、妊活を延期・休止・やめた方を対象



4. リアルな妊活事情 ～プライベート編～

a. 妊活に最も重要なこと

「規則正しい生活」と「お金（不妊治療に必要なもの）」が21.3%で同率トップとなり、特に「お金（不妊治療に必要なもの）」の数値は40代（26.3%）で目立ちます。3位は「パートナーの理解や協力」（15.3%）で、全年代で10%を超える結果となりました。4位の「パートナーとの十分なコミュニケーション」（9.6%）は、20代（14.0%）が高くなりました。

◆妊活に最も必要だと思うものをお答えください。

*妊活中・1年以内に予定されている方を対象

(%)

位	(n)	全 体	男性	女性	20代	30代	40代
		333	158	175	50	165	118
1	規則正しい生活	21.3	19.6	22.9	22.0	23.6	17.8
	お金(不妊治療に必要なもの)		20.9	21.7	18.0	18.8	26.3
3	パートナーの理解や協力	15.3	15.8	14.9	18.0	14.5	15.3
4	時間(不妊治療に必要なもの)	9.6	8.2	10.9	10.0	10.9	7.6
	パートナーとの十分なコミュニケーション		10.1	9.1	14.0	9.1	8.5
6	お金(不妊治療に必要なもの以外)	9.3	11.4	7.4	10.0	9.1	9.3
7	職場の理解	4.8	4.4	5.1	4.0	4.2	5.9
8	時間(不妊治療に必要なもの以外)	3.3	4.4	2.3	2.0	4.2	2.5
9	職場の支援制度	3.0	3.8	2.3	2.0	1.8	5.1
10	医療機関の治療方針や実績の情報	1.5	0.6	2.3	0.0	2.4	0.8
11	相談相手	0.6	0.6	0.6	0.0	0.6	0.8
12	その他	0.3	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0

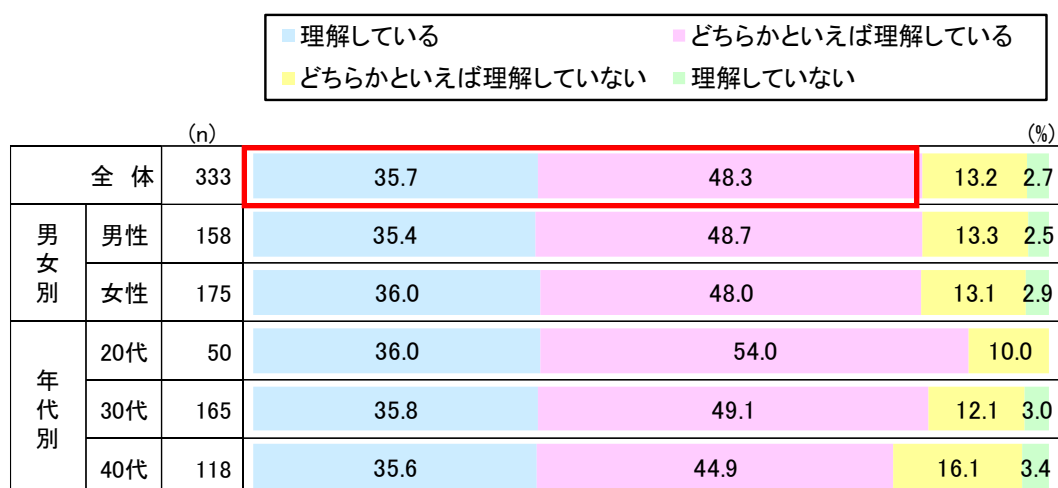
b. パートナーとの妊活に対する考え・希望の共有

妊活に対するパートナーの考えや希望について、自身が“理解している”（「理解している」「どちらかといえば理解している」の合計）と回答した方は全体の84.0%を占めました。一方、パートナーが自身の考えや希望を“理解している”（「理解している」「どちらかといえば理解している」の合計）と回答した方も、同程度（79.5%）でした。

このことから、多くのご夫婦が、お互いの考えや希望を共有し合いながら妊活に取り組んでいることが窺えます。

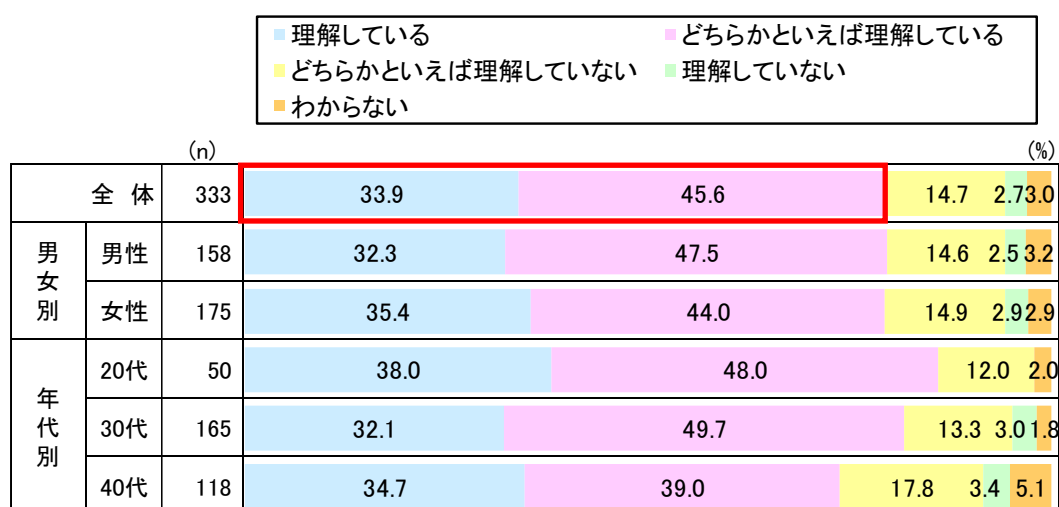
◆妊活に関して、あなたはパートナーの考えや希望を理解していると感じますか。

* 妊活中・1年以内に予定されている方を対象



◆妊活に関して、パートナーはあなたの考えや希望を理解していると感じますか。

* 妊活中・1年以内に予定されている方を対象

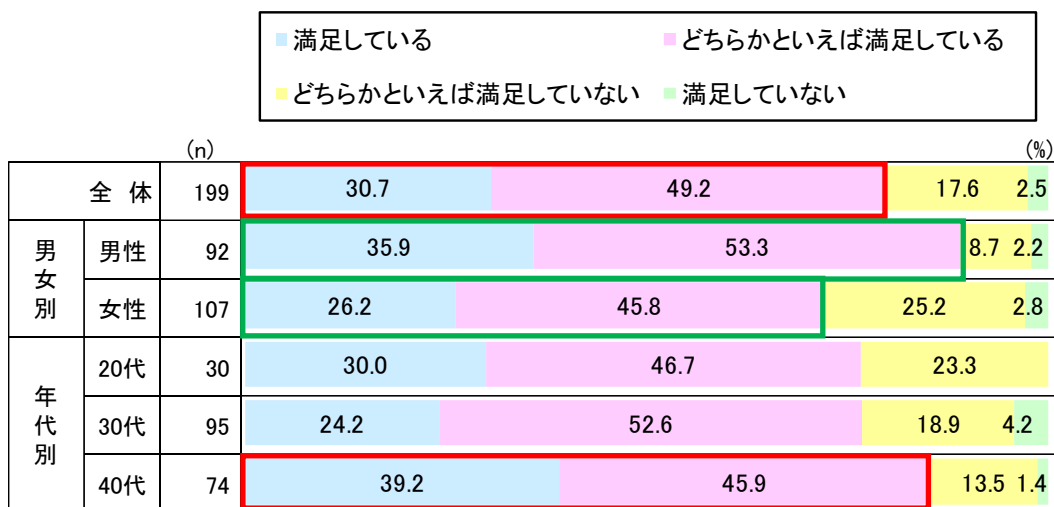


c. パートナーの妊活への取組みに対する満足度

パートナーの妊活への取組みに“満足している”（「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計）と回答した方は79.9%でした。男女別では女性の方が17.2ポイント、“満足している”の数値が低くなっています。また、年代別で満足度が最も高かったのは40代（“満足している”85.1%）でした。

◆パートナーの妊活への取組みに満足していますか。

* 妊活中の方を対象



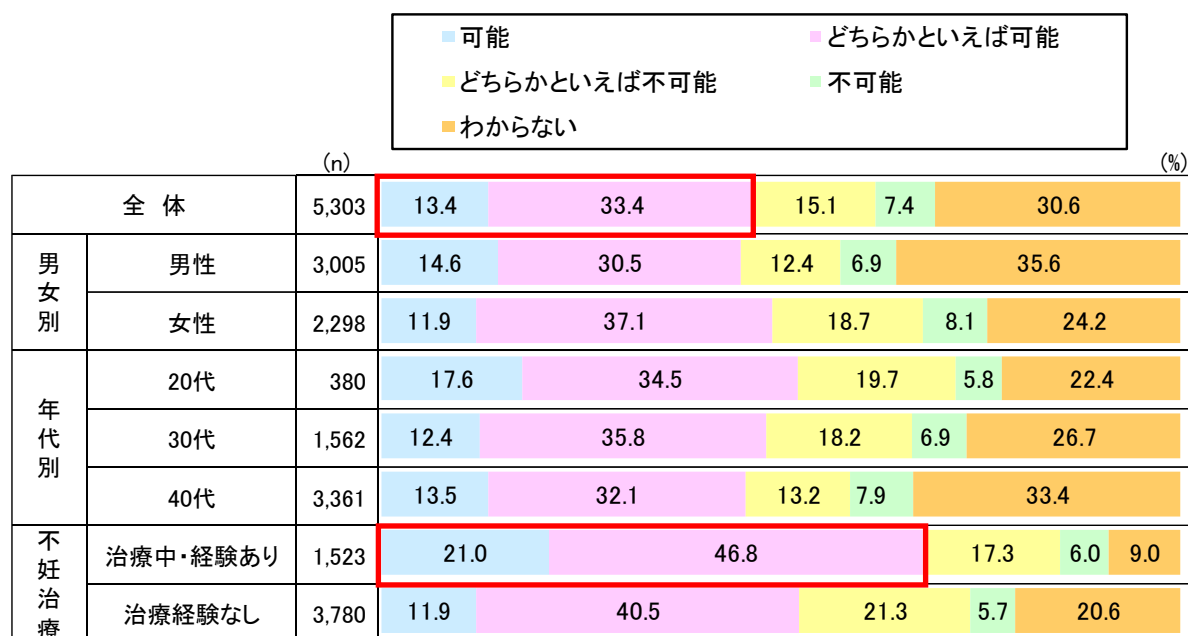
5. リアルな妊活事情 ～オフィス編～

a. 職場における不妊治療と仕事の両立の可否

全体では“可能”（「可能」「どちらかといえば可能」の合計）と回答した方が46.8%となり、年代が低いほど高く、不妊治療経験者（不妊治療中の方を含む）については67.8%に及んでいます。

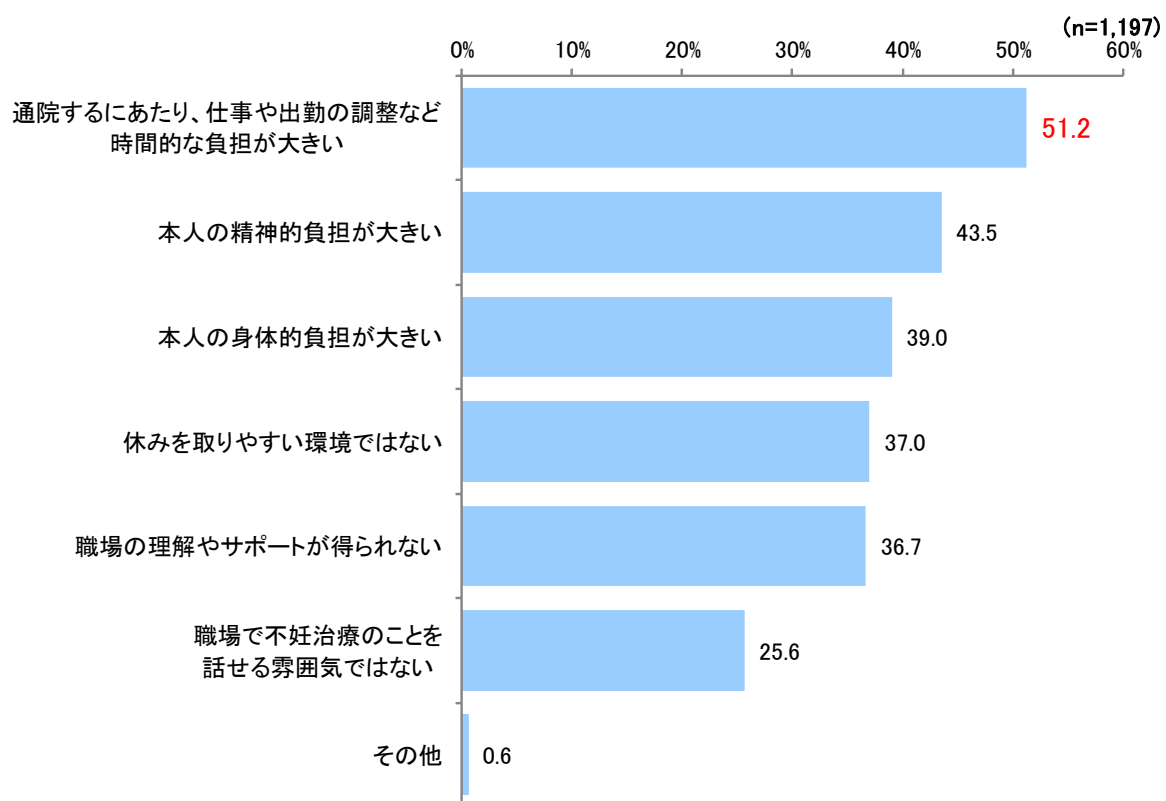
なお、“不可能”（「不可能」「どちらかといえば不可能」の合計）回答の理由として、「通院するにあたり、時間や出勤の調整など時間的な負担が大きい」（51.2%）が過半数を占めました。

◆あなたの職場では、不妊治療と仕事の両立は可能だと思いますか。



◆両立が難しいと思う理由を教えてください。(複数回答可)

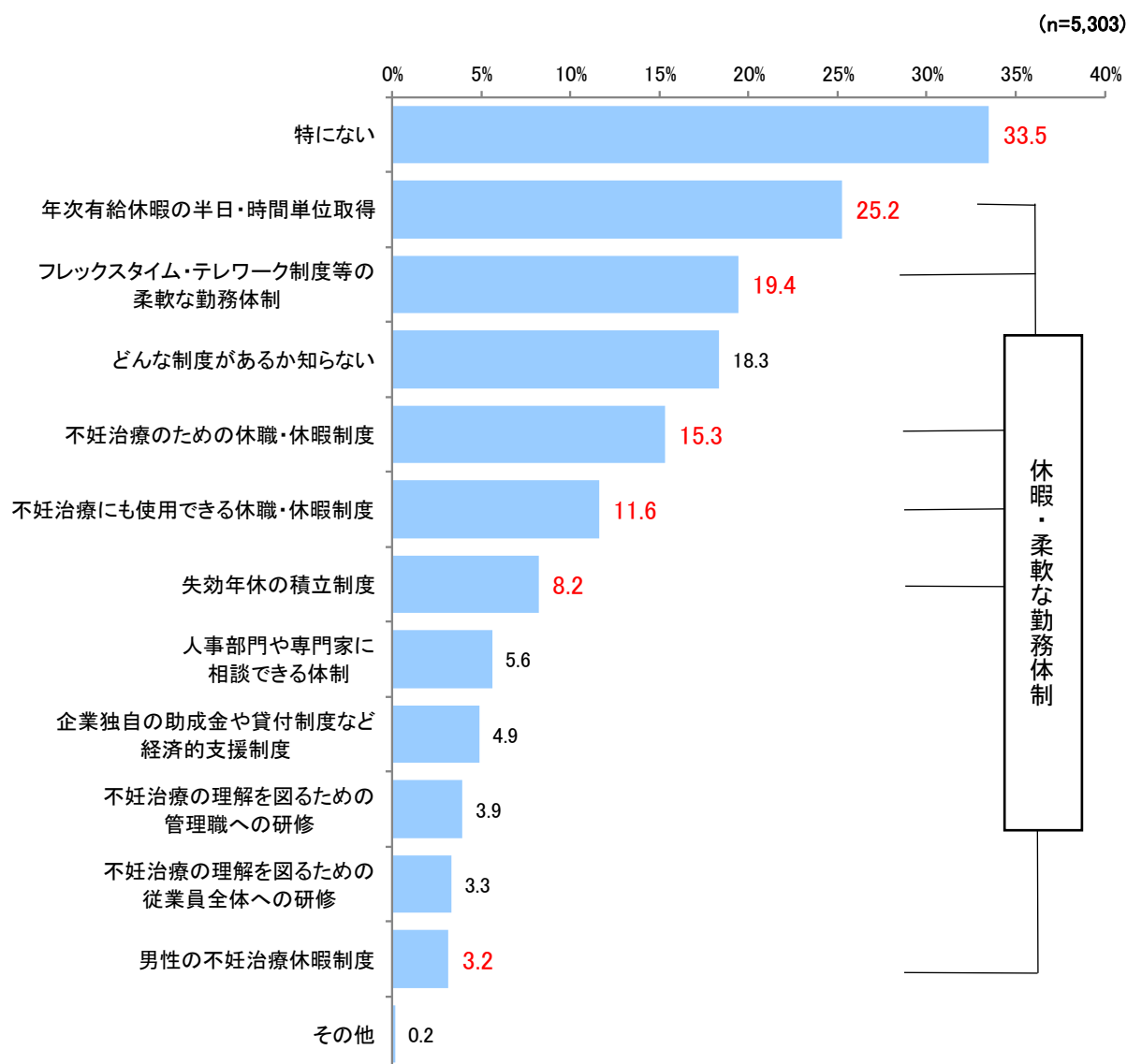
* 不妊治療と仕事の両立が「どちらかと言えば不可能」「不可能」と回答した方を対象



b. 職場における不妊治療と仕事の両立支援制度等

前述したように、働きながら不妊治療を続けるためには“時間”が大きな課題となっていますが、以下のとおり、企業においても、休暇制度や柔軟な勤務が可能となる制度をメインに整えていることがわかります。しかしながら、一番多かった回答は「特にない」(33.5%)でした。

◆不妊治療と仕事の両立のため、現在、あなたの職場にある制度等についてお答えください。(複数回答可)

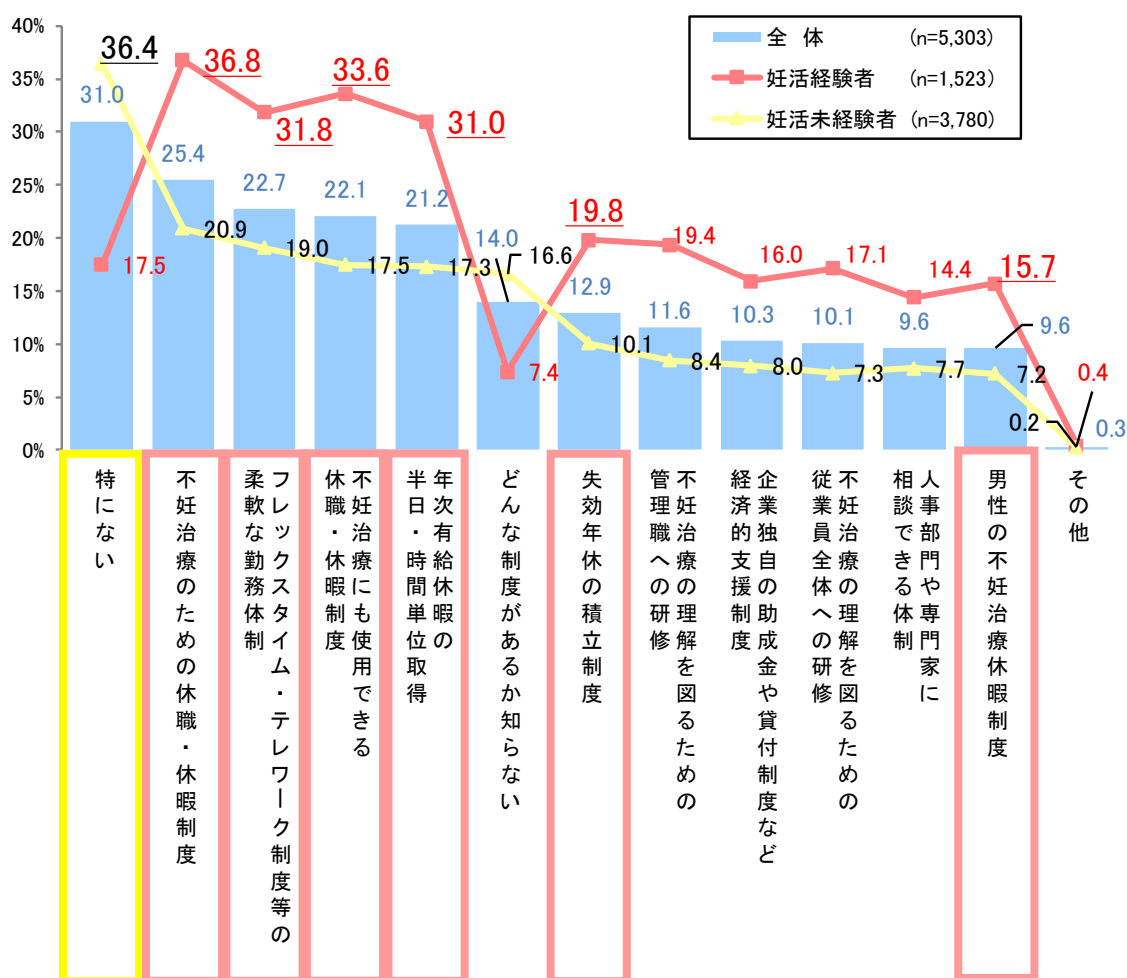


c. 職場に必要とされる、不妊治療と仕事の両立支援制度等

不妊治療と仕事を両立させるため、職場にはどのような支援が求められているのでしょうか。その回答は、妊活経験の有無によって大きく異なりました。

妊活未経験者のトップは「特にない」(36.4%)ですが、妊活経験者(妊活中の方を含む)は休暇制度の充実やフレックスタイム制・テレワーク制度等の柔軟な勤務体制へのニーズが高くなっています。また、「特にない」「どんな制度があるか知らない」以外は、妊活未経験者よりも妊活経験者の方が顕著に高い数値になりました。

◆不妊治療と仕事の両立のため、職場に求めるものを、
現在あなたの職場にあるものも含めてお答えください。(複数回答可)



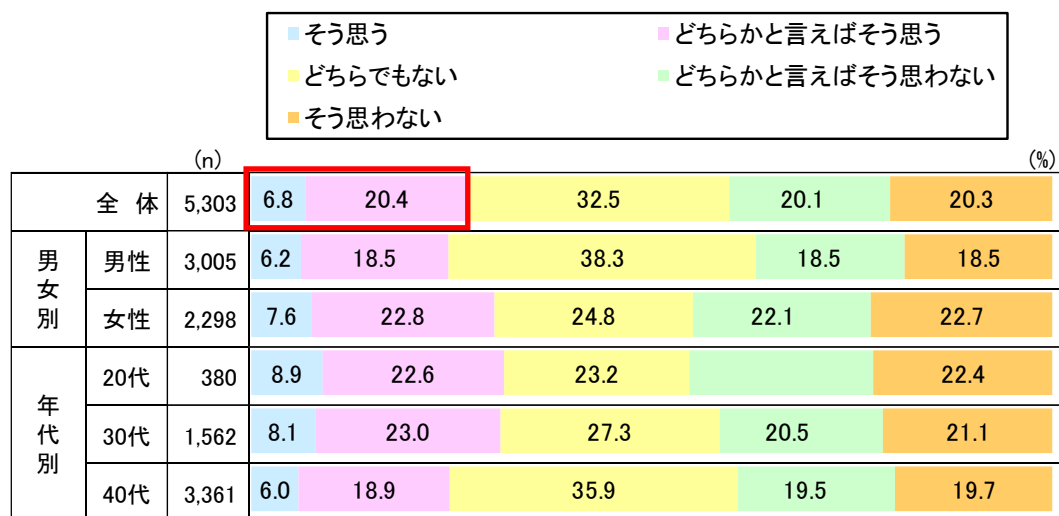
d. 職場への伝えやすさ

不妊治療中であることを上司や同僚に“伝えやすい”（「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計）と感じている方は全体で27.2%ですが、実際に、不妊治療経験者（不妊治療中の方を含む）が職場に伝えた割合は、それを大きく上回る48.8%（「一切伝えていない」51.2%を除く）でした。伝えにくいと感じていたとしても、伝えざるを得ない状況があるのかもしれません。

伝える目的は、仕事に支障が生じる可能性を説明することや、職場から一定の配慮・サポートを受けるためであること等が考えられますが、周りの反応は「変わらない」（47.6%）が最多でした。

なお、「シフト変更など出勤日の調整を行ってくれた」「仕事をフォローしてくれた」「仕事量の調整を行ってくれた」「相談にのってくれた」というプラスの反応は42.1%（208名）、「配慮に欠ける言動があった」「ハラスメント等の言動があった」というマイナスの反応は7.3%（36名）でした。“制度・組織”というハード面だけでなく、“人”というソフト面にも課題がみられます。

◆あなたの職場は、不妊治療を行っていることを上司や同僚に伝えやすい雰囲気であると思いますか。

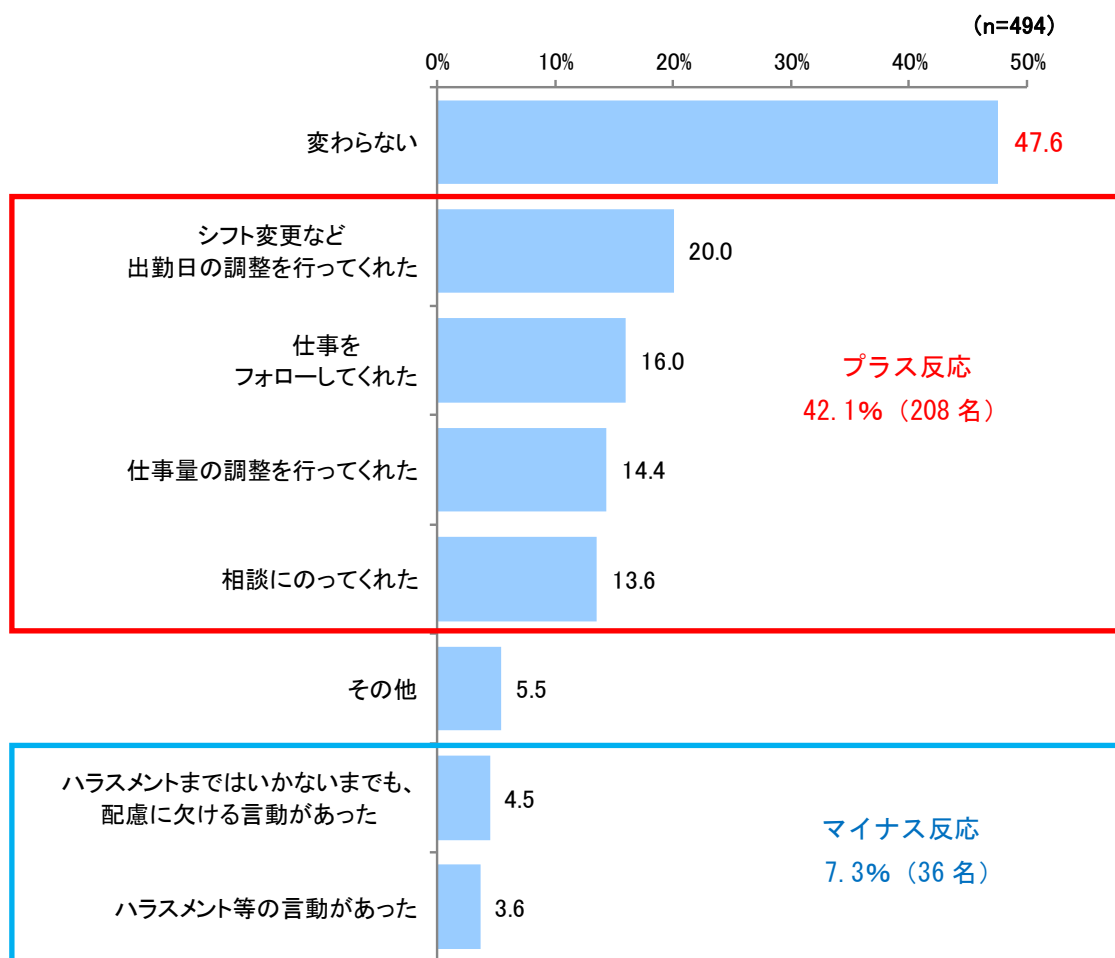


◆不妊治療を行っていることを職場の誰に伝えましたか。（複数回答可）

* 不妊治療経験者（不妊治療中の方を含む）を対象

	全体	男性	女性	20代	30代	40代
(n)	494	238	256	29	168	297
一切伝えていない	51.2	58.0	44.9	31.0	38.7	60.3
上司に伝えた	29.4	22.3	35.9	34.5	38.7	23.6
同僚に伝えた	27.3	21.8	32.4	34.5	37.5	20.9
公言する相手を限定せずオープンにした	8.3	8.8	7.8	13.8	9.5	7.1
人事に伝えた	3.2	2.5	3.9	3.4	4.8	2.4

◆上司や同僚の方の反応はいかがでしたか。(複数回答可)



e. 不妊治療と仕事の優先度

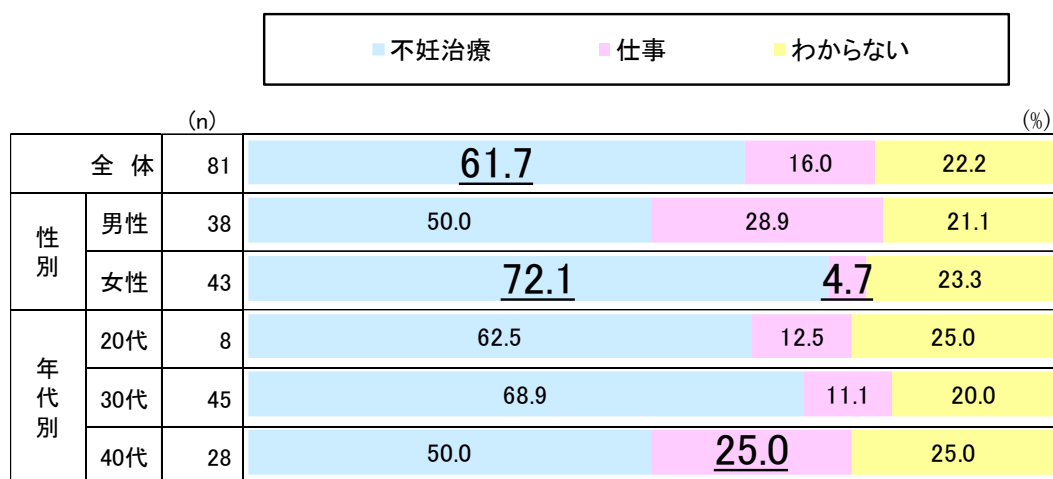
不妊治療中・受ける予定がある方を対象に、両立が困難になった場合の仕事と不妊治療の優先度をきいたところ、全体の61.7%が「不妊治療」と回答し、特に女性は男性よりも22.1ポイント高く、「仕事」は4.7%のみでした。年代別では、40代の「仕事」が25.0%と高くなっています。

また、「不妊治療」を選択する最も大きな理由は「年齢的なリミットがあるから」(68.0%)です。男女別では女性が、年代別では30代・40代が非常に高くなっています。

◆両立が困難な場合、あなたは不妊治療か仕事か、どちらを優先しますか。

または優先したいと思いますか。

* 不妊治療中または受ける予定がある方を対象



◆両立が困難な場合、あなたが不妊治療を選択する理由について教えてください。

(複数回答可)

* 前問で「不妊治療」との回答者を対象

	全体	男性	女性	20代	30代	40代
(n)	50	19	31	5	31	14
年齢的なリミットがあるから	68.0	57.9	74.2	40.0	71.0	71.4
妊娠・出産できるまで続けたいから	42.0	63.2	29.0	60.0	45.2	28.6
後悔したくない諦めたくないから	24.0	26.3	22.6	0.0	29.0	21.4
高度治療を受けたいから	22.0	10.5	29.0	40.0	16.1	28.6

6. 不妊治療費の上限や国への要望

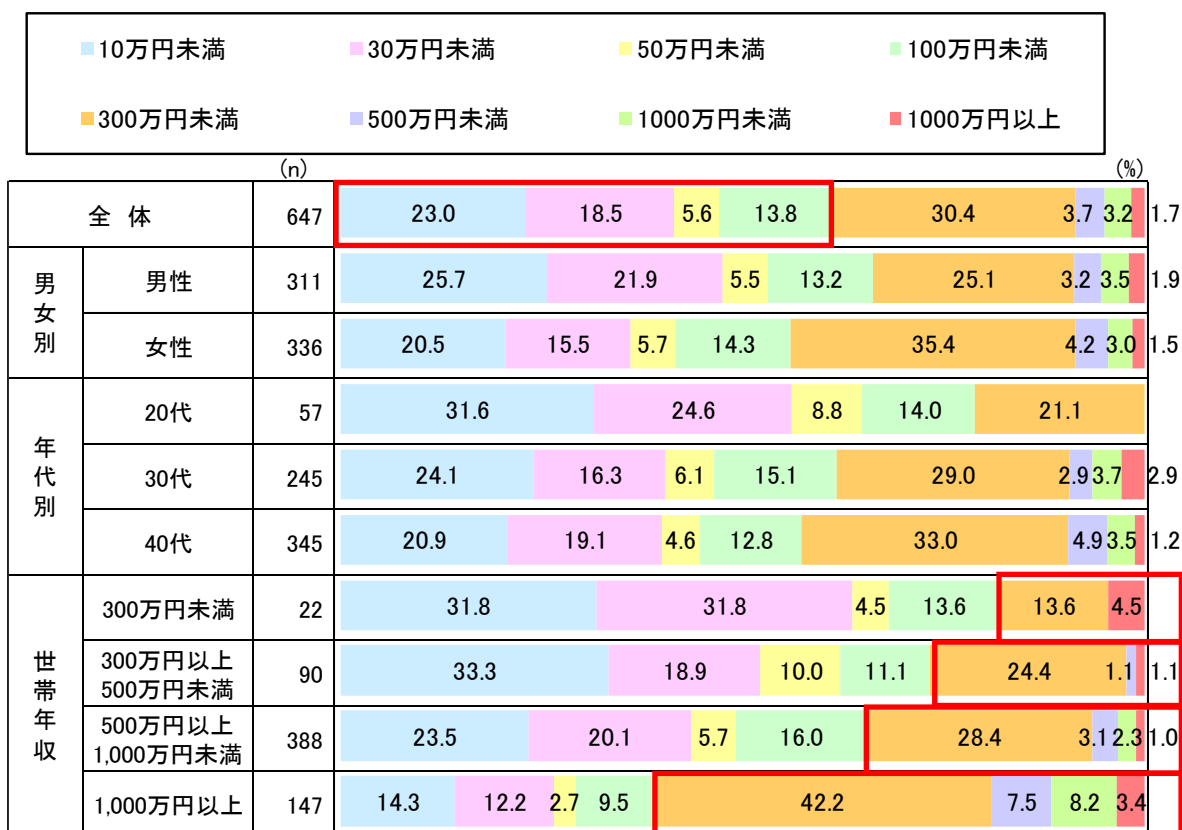
a. 不妊治療にかけられる費用と期間の上限

一般的に「不妊治療にはお金がかかる」と言われていますが、不妊治療にかけられる費用の上限は、約6割（60.9%）が100万円未満を想定しています。また、上限額100万円以上の回答割合は、世帯年収とほぼリンクするかたちになりました。

期間の上限は、平均で「2年11ヶ月」となっています。

◆不妊治療にかけられるトータル費用と期間の上限を教えてください。

* 不妊治療経験者（不妊治療中の方を含む）または受ける予定がある方を対象



【不妊治療にかけられる期間の上限平均】

全体		647	2年11ヶ月
性別	男性	311	2年8ヶ月
	女性	336	3年3ヶ月
年代別	20代	57	2年5ヶ月
	30代	245	3年0ヶ月
	40代	345	3年0ヶ月
世帯年収	300万円未満	22	2年7ヶ月
	500万円未満	90	3年4ヶ月
	1,000万円未満	388	2年6ヶ月
	1,000万円以上	147	3年10ヶ月

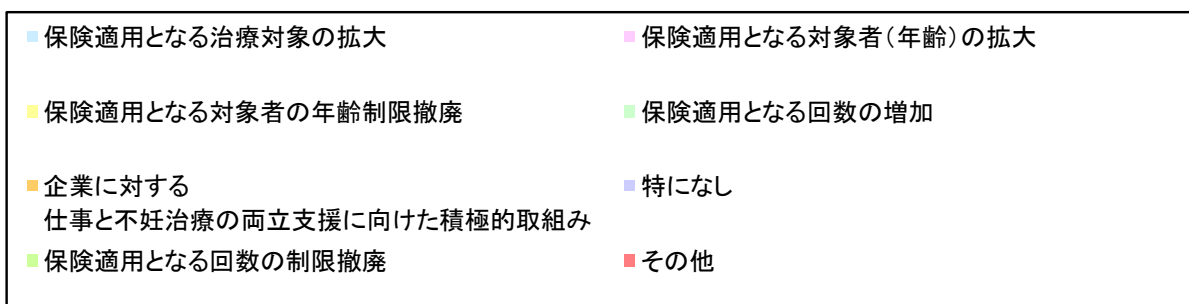
b. 国に求める支援

国に求める支援として、約5割（47.1%）が「保険適用となる治療対象の拡大」を挙げており、経済的な不安なく不妊治療を行いたいという思いが結果に現れています。

◆あなたは国に対して、どのようなことを望みますか。

最も重要と思われるものを一つお選びください。

* 不妊治療経験者（不妊治療中の方を含む）または受ける予定がある方を対象



		(n)									(%)
全体		647	47.1	13.9	10.5	8.8	7.9	6.6	4.9	0.2	
性別	男性	311	44.7	19.6	12.5	8.7	4.5	7.1	2.6	0.3	
	女性	336	49.4	8.6	8.6	8.9	11.0	6.3	7.1		
年代別	20代	57	59.6	10.5	7.0	5.3	8.8	3.5	5.3		
	30代	245	49.8	13.1	8.6	9.4	7.8	6.9	4.5		
	40代	345	43.2	15.1	12.5	9.0	7.8	7.0	5.2	0.3	

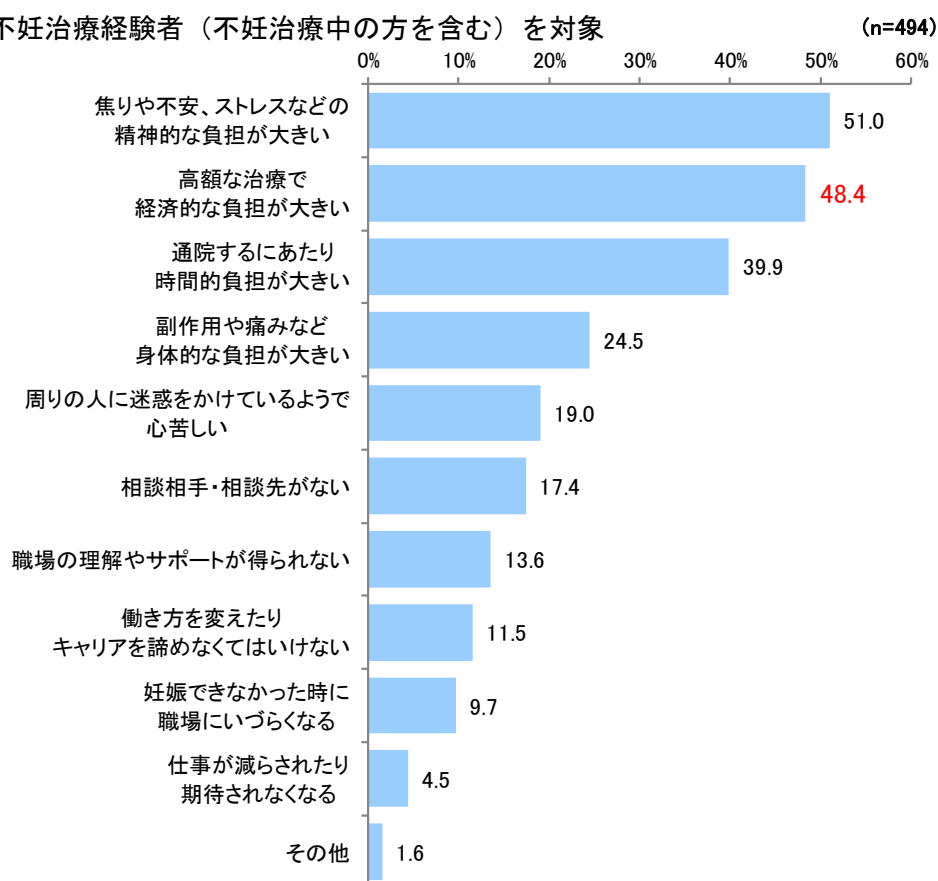
7. 仕事と不妊治療の両立実現に向けた、企業の積極的取組みへの期待

以下のとおり、不妊治療の当事者にはさまざまな負担がかかります。経済的負担については今回の保険適用拡大の影響が注目されますが、“仕事と不妊治療の両立”という社会的課題を解決するためには、企業における両立支援に向けた制度的対応に加え、制度が活用できる職場づくり等の積極的取組みが必要と考えられます。

住友生命では、スタートアップ企業や関連団体と共に、企業における“不妊治療と仕事の両立のサポート”および“将来妊活に取り組む人のサポート”など、プレコンセプションケア領域のソリューション開発・事業共創を進めています。本ソリューションのニーズ調査や効果検証のため、2021年度には住友生命社内において実証実験を行い※、2022年度には企業や自治体とも連携した実証実験の実施を検討していきます。この事業を通して、“仕事と不妊治療の両立”という社会的課題の解決、および将来妊活に取り組む人への介入による社会的課題そのものの縮小に貢献してまいります。

◆不妊治療を行う上で、困難に感じたことを教えてください。（複数回答可）

* 不妊治療経験者（不妊治療中の方を含む）を対象



※ 実証実験の詳細は以下の URL をご参照ください。

<https://www.sumitomolife.co.jp/about/newsrelease/pdf/2021/211101.pdf>

実証実験の結果については以下の URL をご参照ください。

<https://www.sumitomolife.co.jp/about/newsrelease/pdf/2021/220323a.pdf>

以上